

健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすために必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。



保護者の皆さんは最近の性教育をご存知でしょうか？



医療法人エルム女性クリニック 院長 佐藤 秀平 先生

中学生や高校生、すなわち思春期の子どもたちを取り巻く社会的情勢は、特にインターネットやSNSなどの普及とともに、若者の心身の健康や生活に大きな影響を与えています。性感染症、いじめ、不登校などのメンタルヘルスに関する問題や生活習慣病、そして性犯罪などは社会的にも多様かつ複雑化しています。そのような問題に加えて、あるいは学校内でのスポーツ活動や過度のダイエットなどにより起こる月経異常のことなど、個別の対応が必要な状況も多くなってきました。現在、文部科学省では、学校教育における性に関する指導について、このような多様に深刻化した健康的課題に対して、より強化した取り組みを果たすように、各学校での現実的・具体的な指導をするように求めています。

平成初期までの性教育は、〇〇してはいけない、〇〇は危険だ、大人になるまでは〇〇はしない、と言うように、心身の成長に伴う心や性の衝動に伴う妊娠や性感染症などの危険性だけを強調して、青少年の行動を抑え込む内容での指導がされてきました。

しかし、その後、性教育はかなり進歩し、思春期の生理的な体の変化や、正確な妊娠までの過程、そして避妊のこと、性感染症のことなど、具体的な内容で教育されています。思春期には性の欲求や衝動、身体の変化などが起こることは生理的な現象であり、その中で、他者に危害を加えないことで行う性の享受は、大切な成長の過程でもあることも伝えています。性の最終地点の一つには、新しい命の誕生があること、そして、生命を尊重することと同様に、自分の性も他人の性も大切な

存在であり、尊重すべきものであることを伝えています。妊娠を希望しない性交には必ず2つの予防策、すなわち避妊には低用量ピルを、性感染症の予防にはコンドームを同時に使うのが基本であることを伝えています。また、子宮頸がんの予防には、HPVワクチン接種とパートナーも含めた禁煙が必要であることも加えて話をします。

性には人格があり、最も重要な点としては、どのような年齢であっても、たとえ夫婦間であっても、性行為には「性的同意」を言葉で尋ね、相手から言葉で伝えてもらう必要があるという社会のルールです。同意を得て行う性行為は、お互いの信頼関係を築き、さらに愛情を確認する最も有用な方法の一つでもあることも伝えています。性的同意の無い性行為は暴力であることを、しっかり自覚するように伝えています。

また性には個性があり、成長とともに出てくる性別に関する違和感についても伝えています。以前は性同一障害という用語が使用されていましたが、現在は、個々の様々な性的な心身の違和感には障害ではなく、正常と異常という境界もないことなどから、性別違和という用語を使用します。この現象はすでに小学生の時期から始まる場合も多く、本人も悩んでいながら誰にも相談できていないことも多いのが現状です。一番大切なこととして、性別違和をもつ個人に対しての差別をしないことを伝えています。

現在の性教育の一端を紹介しましたが、最も大切な性教育は、家庭内で始まっているということ、保護者の方がその教師であることを最後に付け加えておきましょう。

救急医療当番医 診療時間 9:00~12:00 *受診前に必ず各医療機関に電話で確認してください。

日程	病院名	電話番号	消防署救急病院 紹介電話 Tel34-4999
10月3日(日)	かねひらクリニック(旭町55-2)	Tel35-3167	
10月10日(日)	増田病院(新町41)	Tel35-2726	
10月17日(日)	田町小山クリニック(田町4-5)	Tel34-3431	
10月24日(日)	白生会胃腸病院(中平井町142-1)	Tel34-6111	
10月31日(日)	かねひらクリニック(旭町55-2)	Tel35-3167	

人口のうごき

令和3年8月末 住民基本台帳 ()内は前月比

総人口…52,621人(-72) 男…24,175人(-28) 女…28,446人(-44) 世帯数…25,642世帯(-6)